

今変おう!

あなたが動けば 市政が変わる、 北区が変わる

7期28年、みなさんの温かいご支援に支えられて
がんばってきました。

これからも「住民こそ主人公」をモットーに、
いのちと暮らしを守る市政をめざしてがんばります。

日本共産党




党市会議員団幹事長・副団長

井坂博文

市会

いさか ひろふみ

市議7期、63歳。現在日本共産党市会議員団幹事長・副団長、市会運営委員、市会文化環境委員。立命館大学卒業。北健康友の会顧問、紫野おやじの会「遊紫」メンバー、京都原水協常任理事、京都原水爆被災者懇談会・被爆2世3世の会世話人。趣味 ラグビー観戦、家庭料理。

いさかひろふみ   

安倍改憲を京都にもちこむ

自衛隊
への

個人情報無断提供は許さない!

「赤紙は配らない」「戦争に協力する事務は行わない」は市職員の決意であり、市民の願い。被爆2世として戦争につながるあらゆる動きを許しません。

破たんした原発はもういない!!

世界各国が原発から撤退を始め、日本政府と大企業の「原発輸出」はことごとく挫折。「安全神話」も「原発輸出」も破たんしています。2019年を「再稼働撤回」「原発ゼロ、再生可能エネルギーの拡大」の年にするために、今日もキンカン行動(毎週金曜日・関電京都支店前)にがんばっています。



地域要求アンケートに要望びっしり

北区の府市会議員共同で夏から取り組んでいる地域要求アンケート。寄せられた改善要望をまとめて北部土木事務所と北警察署に申し入れ、懇談。すぐに改善する内容もあれば、懇談を通して要望内容の理解も深まり、検討して後日回答をいただくことになりました。

市民の声をまっすぐ 市政に届けて

年2回の予算・決算特別委員会の総括質疑。毎回、党議員団から質問に立っています。市幹部や他党議員から「わかりやすい」「勉強になる」との声も。市長らは「あなたとは立ち位置が違う」「批判のための批判」と答弁不能になる場面も。市民の声が市政に届くようトコトン追及しています。

災害に強い北区の まちづくりへ全力

「災害に強い北区のまちづくりと防災を考えるシンポジウム」(2018年12月16日)を企画。「北山の被害は市内にも及ぶ。山里を守ろう」「避難所の運営に地域の声をいかそう」と専門家の提案や被害地域からの報告とともに、地域の自主防災会役員、区役所副区長も参加して意見交換しました。広域避難場所でもある大宮交通公園の縮小につながる再整備計画の見直しを求めます。



市民と日本共産党の共闘をすすめる
井坂博文さんに期待します。



フリージャーナリスト
守田 敏也さん

井坂さんは、よいものを採りこんで自分を変える柔軟性があります。「朝起きたらみそ汁が出てくる」と結婚前は思っていたものの、お連れ合いさんに「公平分担して当たり前」と言われて素直に実行。家事も上達し、男女平等を実践しながら議員として

活躍しています。僕とは、「京都被爆2世3世の会」の世話人をともに担っています。井坂さんは市民と日本共産党の共闘の新たな広がりやチャレンジし、大事な原則は貫きながら、柔軟に自己変革しています。そんな井坂さんを熱烈に期待します。

「ホンマもん」の市政と議員をめざします

近所の居酒屋さんの好意で店のカベをお借りして張り出しました。北大路通りの今宮神社参道の交差点。迫力満点!北区で話題になっています。

